



たゆたう声に聞く 2019 22.0 × 27.3cm キャンバスにアクリル、洋紙、色鉛筆

Solo Exhibition by Mica Suga “Uncertainty area”

スガミカ 個展 「不確かな領域」

2019.5.11 (Sat) —25 (sat)

日、月 休廊 Closed on Sunday, Monday

12:00 - 19:00

Opening Reception 5.11 (Sat) 18:00 - 20:00

## YUKI-SIS

東京都中央区日本橋本町 3-2-12 日本橋小楼 202 03-5542-1669

info@yuki-sis.com <http://yuki-sis.com>

3-2-12- #202,Nihonbashi Honcho,Chuoh-ku,Tokyo

103-0023,JAPAN +81(0)3 5542 1669

YUKI-SIS では、2019年5月11日（土）－25日（土）スガミカ個展 不確かな領域 Uncertainly Area を開催いたします。YUKI-SIS では初めての個展となります。

スガミカは大分市生まれ。セツモード・セミナー研究科卒業後、版画工房 WATER にて銅版画を学ぶ。HB ギャラリーコンペティション VOL24 永井裕明特別賞、VOL.25 永井裕明大賞受賞。イラストレーターとして実績を持つスガミカは、仕事として数々の挿絵や装画を制作。グループ展等も積極的に多数参加しています。

初めてスガミカの作品を観たのは2018年10月、Art Chiyoda で開催された現在日本で活躍する222名のイラストレーターの作品が展示された「ILLUSTRATION WAVE 2018」というグループ展でした。幼い頃から慣れ親しんだ画風、その絵をみれば商品が思い起こされる作品、パワフルな作品から繊細な作品まで、様々なスタイルの作品が並んだ、パワーに満ちたグループ展だったのを覚えています。



打ち解けない言葉を覗く 2019 40.8×24.3 cm キャンバスにアクリル、雁皮紙、わら半紙、色鉛筆

その中で、どこかアンニュイでシュールな違和感を感じた作品だったのがこのスガミカの作品でした。

スガミカが今まで描いてきた作品には、無表情でありながらどこか影をもつ、痛みや毒のある少女または女性が描かれてきました。この静かで不安定な世界感は、彼女自身の持つ世界であり、彼女の目を通して語られる世界の現状でもあります。痛々しく頼りなさそうだけれど、実は凜としている、そんな二面性を持つ女性像は、一度見たら忘れられない魅力をたたえています。



文学的週末を漂う 2019 22.0 ×27.3 cm キャンバスにアクリル、雁皮紙、色鉛筆

銅版画をコラージュした作品が多い中、今回はアクリル絵の具を用いた新作が並びます。作品から溢れるストーリーをぜひ感じていただければと思います。

## スガミカ 略歴

2015年 個展「angina house」(表参道 HB ギャラリー)

2016年 個展「hide and seek」(中目黒 SPACE M)

2018年 個展「Mistmost/foundpaper」(成城学園前 Quo vadis)

CONTEMPORARY CHIC (大阪阪急うめだ)

ILLUSTRATION WAVE VOL.1 (3331 アーツ千代田)

2019年 Human Museum2018 Meister's Choice Group Exhibition (外苑前タンバリンギャラリー)

Rooms experience 38 (五反田 TOC)